本機のプロジェクターを使用して本機や本機に接続した機器の データを投写することができます。

♀ 警告!

プロジェクターが ON のときに、プロジェクションレンズを直 視したり、人や動物の目に向けないでください。視力低下など の傷害を起こす原因になります。

本機に保存したデータを投写する

本機に保存したデータを投写することができます。

- 投写したいデータを開く(画像データ) ホーム画面で「アプリ」→「ギャラリー」→アルバムをタップ→画 像をタップしてフルスクリーンで表示します。
- プロジェクターを ON
 「ブロジェクターを ON / OFF にする」を参照してください。
- 本機を平らな場所に置き、投写距離を調整

🗾 補足

- 電源ボタンをすばやく2回押すと、焦点が自動調整されます。
- 12時間連続で投写した場合や、本体が高温になった場合は、投写が自動的に OFF になります。

HDMI で接続した機器のデータを投写する

本機にHDMIケーブルでノートパソコン/パソコンやTV STB(セットトップボックス)を接続してデータを投写でき ます。Lightning コネクターで接続する Apple 製品の場合は Lightning-Digital AV アダプタが必要です(製品には同梱さ れていません)。



 同梱の HDMI ケーブルで本機とノートパソコン/パソコン または TV STB を接続

(ノートパソコン/パソコンと TV STB は製品には同梱されていません。)

Lightning コネクターで接続する Apple 製品の場合は、

Lightning-Digital AV アダプタを使用して機器を HDMI ケーブル に接続してから HDMI ケーブルを本機に接続します。

- プロジェクターを ON 「プロジェクターを ON / OFF にする」を参照してください。
- 3. 通知パネルを開き「HDMI」をタップ [HDMI] スイッチが青字表示になります。

4. ノートパソコン/パソコン、TV STB、または Apple 製品 で表示したいデータを選択

🚺 補足

他の種類の出力ポート(VGA ポート、DVI ポート、 DisplayPort、Mini DisplayPort など)があるノートパソコ ン/パソコンの場合は、対応したアダプタで接続してください。

- 本機がサポートする HDMIの最大解像度は 1080p(1920 × 1080 ピクセル)です。HDMI 経由で映像を投写する場合の最大解像度は 720p(1280 × 720 ピクセル)です。
- 電源ボタンをすばやく2回押すと、焦点が自動調整されます。

USB デバイスのデータを投写する

USB フラッシュドライブやポータブルハードディスクドライ ブなどの USB デバイスに保存されたデータを投写することが できます。



- 通知パネルを開き、
 (USB 機器に接続)の
 の青字表示を 確認
- USB デバイスを本機の USB 接続端子に接続

- 3. ホーム画面で「アプリ」→「ファイル管理」
- 4. 「USB デバイス」→投写したいデータをタップ
- 5. プロジェクターを ON

「プロジェクターを ON / OFF にする」を参照してください。

🗾 補足

- USB デバイスを本機から取り外すときは、通知パネルを開いて (USB デバイスの取り出し)をタップしてください。USB デバイスのマウント解除済みのアイコンが表示されたら、USB デバイスを取り外すことができます。
- 本機がサポートするポータブルハードディスクドライブの 最大容量は 2TB、USB フラッシュドライブの最大容量は 64GB です。
- 電源ボタンをすばやく2回押すと、焦点が自動調整されます。

Wi-Fi で接続したスマートフォンのデータを 投写する

互換性のあるスマートフォンのデータを Miracast(Wi-Fi ディ スプレイ)リンク経由で投写できます。



- プロジェクターを ON 「プロジェクターを ON / OFF にする」を参照してください。
- 2. 通知パネルを開き「Miracast」をタップ 「Miracast」スイッチが青字表示になります。
- 3. スマートフォンの接続機能で周辺の機器を検索
- 周辺機器の表示エリアに本機の名前「モバイルシアター」 が表示されたらタップ スマートフォンは自動的に本機と接続されます。
- 本機で「許可」をタップ 接続が成功すると、スマートフォン内のデータをプロジェクターに 表示できるようになります。
- スマートフォンで表示したいデータを選択

🚺 補足

- Miracast リンクを終了するには本機で戻るキーをタップします。
- 電源ボタンをすばやく2回押すと、焦点が自動調整されます。